

平成 26 年度 施策評価シート

基本構想	交通環境と防災対策の向上
重点的方針	3.「安全・減災都市二宮」づくり
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模地震を含めて大規模災害は、いつどこで発生するかわからないことから、町民と協力・連携した自助、共助、公助によるまちづくりを推進します。 ・その際に、木造住宅の耐震化や「我が家の防災対策」等により、自分の生命と財産は自分で守る自助の力を高めるとともに、地域ごとの防災計画づくりや防災訓練などにより、地域コミュニティの防災力を高めることによって、「減災文化が根付く町」として、安全・安心のまちづくりを推進します。 ・二宮町地域防災計画に基づいて危機管理機能を強化するとともに、町民に普及するなどの取組を推進します。

基本計画(分野別方針)事業名	実施計画 事業数	総合評価
(1) 消防・救急活動の充実強化	1	A
(2) 交通安全・防犯の充実強化	2	A
(3) 消費生活	1	A
(4) 地域の安全力の向上	1	B
(5) 自助活動の推進	1	B
(6) 共助活動の推進	1	A
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・自助・共助の考え方の浸透及び日ごろの見守りを含めた地域ネットワークづくりの推進を図っていく必要がある。 ・大規模災害に備えた各種施設等整備が必要となる。 	

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある	A
	説明	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署では、複雑多様化、大規模化する災害に適切に対応するため、消防署部隊・消防団部隊の連携強化と活動能力の向上を目指し、合同訓練や各種研修を通して専門的知識・技術の習得を図っている。各地域の防災対策においては、各種機器及び設備等の更新や維持管理等を行うとともに、地域コミュニティを中心とした防災力を高めるため、町民と協力・連携した各種訓練等を実施し、自助、共助、公助による安全・安心のまちづくりを推進している。
	方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への防災対策として、東日本大震災から数年を経過し、住民の災害に対する意識が薄れつつあるため、各種訓練や啓発活動等により地域の防災に対する意識の向上を図っていく必要がある。消防署においては、大規模地震等が発生した場合、町内で起こる複数事案に現有の消防力を効果的に活用し、災害時に適切に対応できるようにする。また、災害時の防災拠点である老朽化した消防団詰所を計画的に整備し、消防力の充実強化を推進する。

◎最終評価者[庁内評価委員会]

A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある	B
意見等	<ul style="list-style-type: none"> 「安全・減災都市二宮」づくりの項目については、適切に位置付けられており、効率よく事業が進められているが、一部改善の余地がある。今後の大規模災害等に備えた消防力の強化と地域住民への災害に備えた自助・共助の強化啓発を推進していく必要がある。